

深ぼり京都さんぽ

グレゴリ青山・著

集英社インターナショナル
ウェブ立ち読み

京女さんぽ① 《東寺の謎》



千年の都・京都

その歴史の深さゆえ
伝説や謎の多い街



そしてそこに住む京都人もまた――

グレさん お待たせー

あ 貴子さん
こんにちはー

今日は京女の友人 田中貴子さんと
毎月21日に開かれる東寺の「弘法市」にやってきた

たなか たかこ
とうじ
こうぼういち



実は②は貴子さんに会う時
ちよつとキンチヨーする

グレさん
東寺に
猫の曲がり
ってあるん
知ってる？

だって

猫の曲がり？

東寺の
東南の
角は
なぜか
猫の曲がり
って
呼ばれてるん

へえー

美人さんでまぶしいし

その上

あ今工事中やわ

昔
ここに白虎の瓦が
あったとか猫の
捨て場だった
とかいわれ
てるけど

由来は謎で
文献にも
まったく出て
きいひんの

文献…

鎌倉時代から南北朝時代における
仏書や神書の説話を研究されて
いる甲南大学の教授だからだ

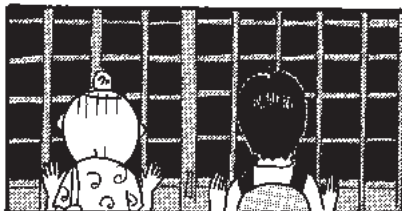
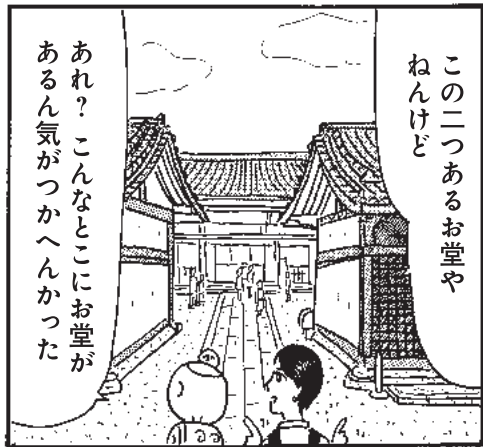
貴子さんは「京都論」も
書かれていて

グレゴリさんの
本 とても興味
深い内容でした

共通の
友人を通じて知り合い

それから友人を交えてよく
女子会をするようになったのだ

でも二人だけで会うのは
今回が初めて





そして雄の夜叉神はさらに

ひッ



腕もなく朽ちかけたような雌とされる夜叉神は異様な迫力

こ…怖ッ

しかもん
でかい



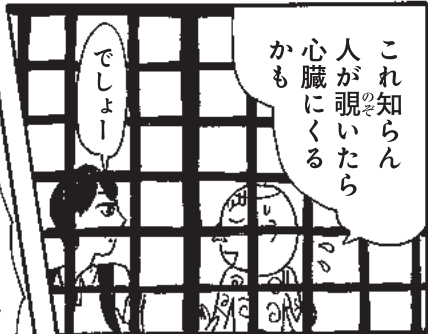
こんなお守りが!!

歯：歯守護
キシリトール!?

食べるお守り
歯守護
キシリトール

夜叉神

神に祀られていた夜叉神は
食堂前に祀られていた夜叉神を
弘法大師作と伝えられ、歯を
下とする神様と昔の信仰
をまとっています。京都 護国寺



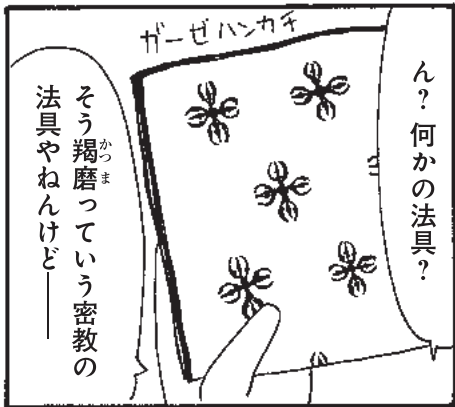
でしょー

これ知らん
人が覗いたら
心臓にくる
かも



東寺
の売店
には…

でもさらに驚く
べきことに







しかもこれ
350円やて

へーおもしろい
それにこの絵
素朴でええ
味わい

えっ



これは
「お釜」を
逆さにした
ので「まか」
次は般若の面
「はんにゃ」
お腹の「はら」



京都人
ワンポイント

しぶちな
京都人は値段
以上に値打ちが
あってお得感の
高いものが
大好きだよ！

これは
ときめく！



おもしろい上
お経で
ありがたくて
350円！

しかも
手ぬぐいとして
使えるし

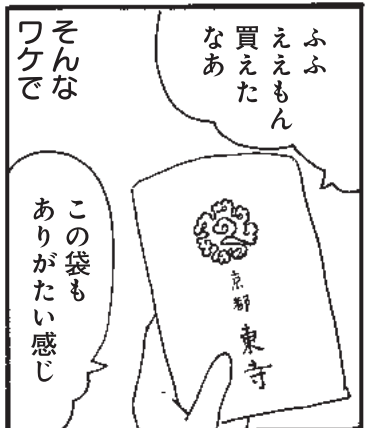


いつもより新鮮に
感じる弘法さんの日であった

あええなあ
まむし大好き

貴子さん
お昼はまむし
でどう？

東寺も貴子さんも



ふふ
ええもん
買った
なあ

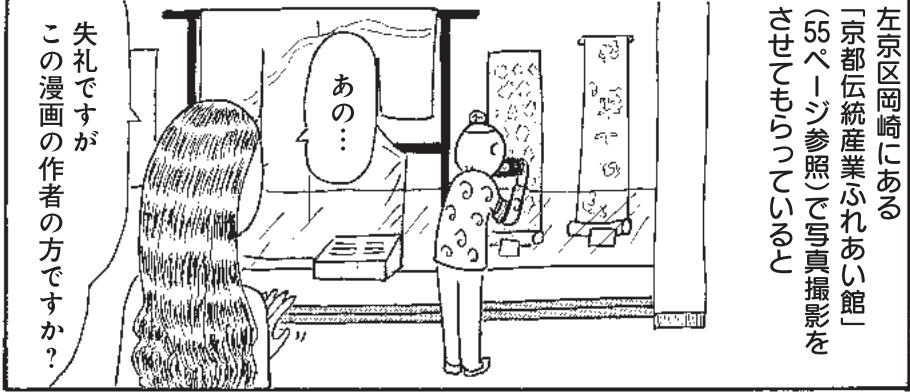
そんな
ワケで

この袋も
ありがたい感じ

京都
東寺



アナスタシアさんの京都① 《ベラルーシ女性の“京都センサー”》



失礼ですが
この漫画の作者の方ですか？

あの…

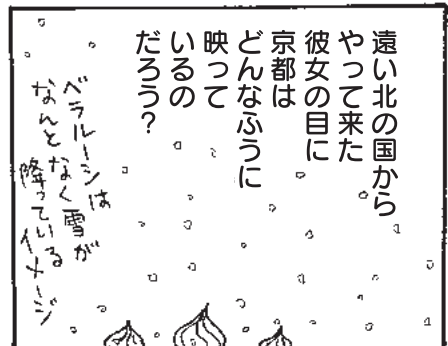
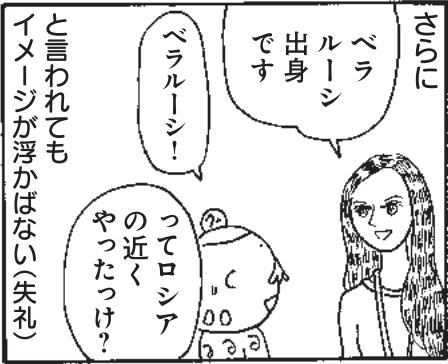
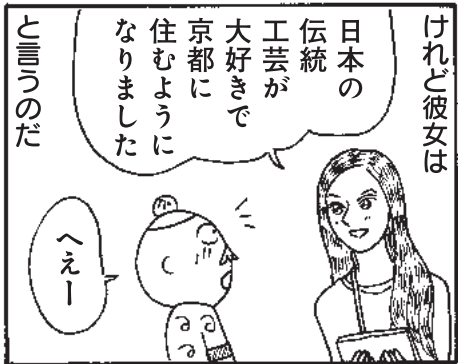
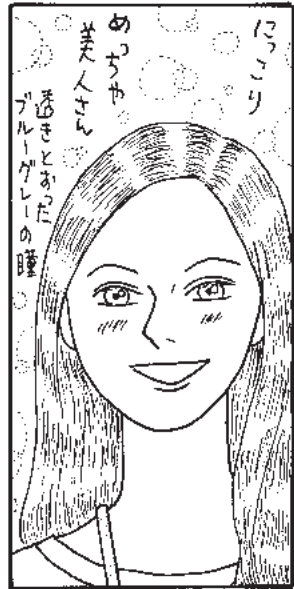
左京区岡崎にある
「京都伝統産業ふれあい館」
(55ページ参照)で写真撮影を
させてもらっているよ



外国人の女性が日本語で話しかけてきた

ちょうどこの本を
読んでいたところでした

スタッフから聞いてきました
私ここで働いている
アナスタシアと申します





というよつな2月の寒い日です

やって来たアナスタシアさんは



おはよう
ございます

寒いですねー

今日はよろしくー

毛糸の帽子が
とても似合っていた

さすが
北国の美女



今日は「哲学の道」を通過して
行きましょう

私この近くに
住んでいるので
よく散歩しています

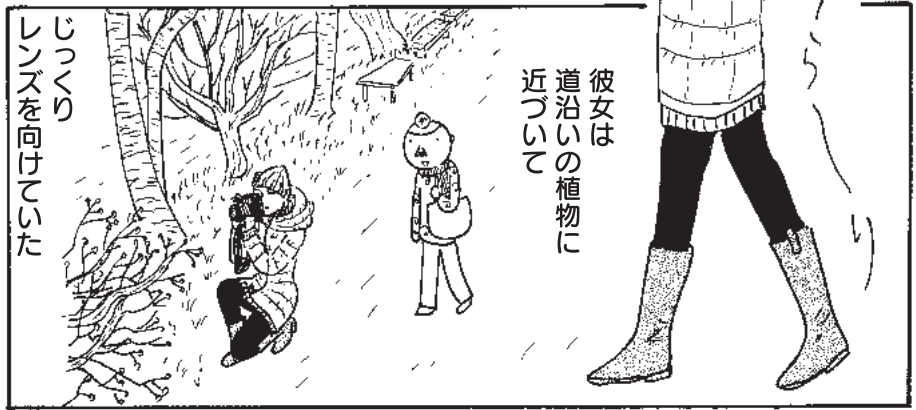


実は私フォトグラファーに
なりたいと思ってるん
です

そう
なんや

今日は
写真を撮り
ながら歩いても
いいですか？

もちろん



彼女は
道沿いの植物に
近づいて

じっくり
レンズを向けていた

ここに来る前に
彼女のウェブサイトを
インスタグラムを
のぞいてみたけど

わあ被写体に
優しく話しかけて
いるみたい…

どれもステキな写真ばかりだった

そして実際アナスタシアさんは

あなたとっても
かわいいわ

そうその
角度ステキよ

かによる
→
勝手な
アテレコ

という感じで

レンズを向けているのであった

私が日本に来て
最も驚いた
のが

日本の
緑の色の
美しさと豊かさ
でした

四季によってその美しさが
変わるのでもよく
この哲学の
道を散歩
します

桜の
季節以外

なんで？

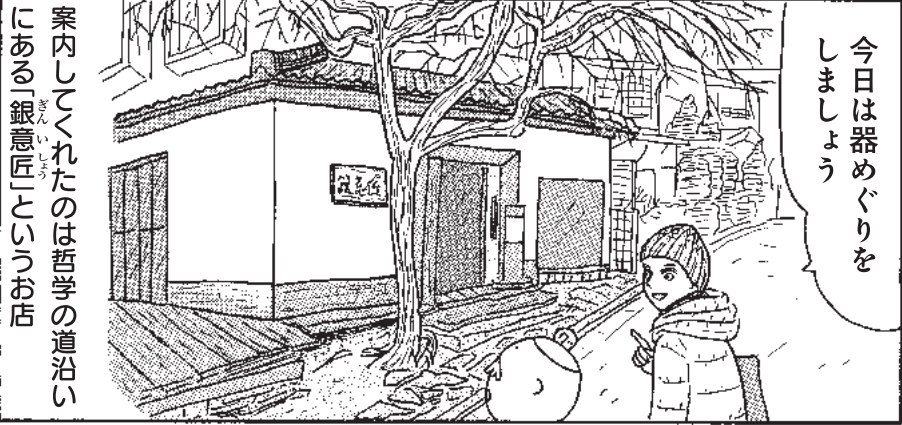
桜の時季は人が多すぎて
この道 満員電車
みたいになります
ます

そんなに！

今の時季が
一番静かです

日本に来て
この時4年目のアナスタシアさん

今日は器めぐりを
しましょう



案内してくれたのは哲学の道沿い
にある「銀意匠」というお店

そこは「木曾アルテック社」という
木曾の木材や伝統的な漆の技術を
生かした器や家具を置く店で

私 日本に
来る前は
パリで
漆の研究を
してました



はい 蒔絵とか

アナスタシアさんの
お気に入りのお店だとのこと

素朴でありながらも洗練された
デザインの 木と漆の器や家具

写真撮っても
いいですか？

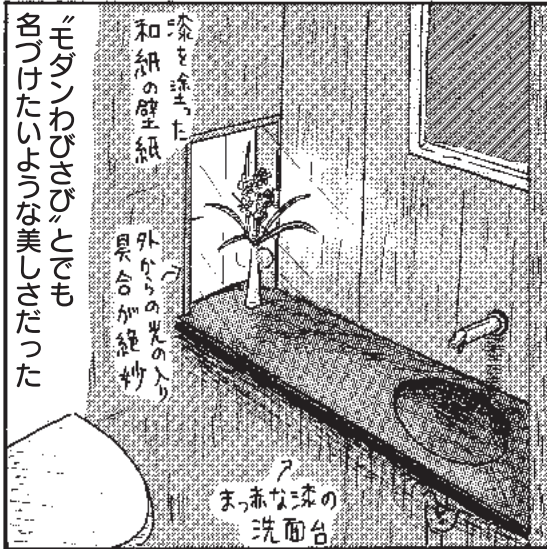
どうぞ



木曾アルテック社さんは家の内装も
されるそつで

和紙にも
いろいろあって
柿渋で染めた
ものや漆を塗った
ものは
壁紙などに
使われます

※ 柿渋から得られる液体。防腐蚀性があり塗料や染料に用いられる。



モダンわびさびとでも
名づけたいような美しさだった



丸々一軒モダンわびさびに
なった京町家の写真だった



どうして彼女はそんなに
日本が好きなのだろう?



工芸品を見てからだといふ

彼女は「銀意匠」の工芸品も
植物を撮った時と同じように

ステキよ
その曲線

⑦によろ
アアレコ
そう
その表情！
愛でるようにレンズを向けていた



日本の工芸品を美しいと思う彼女には

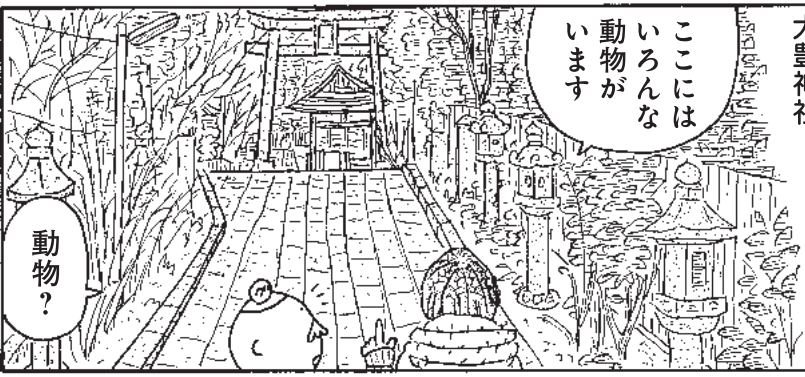
どれも
自然の
素材で
できていて
すばらしい
ですねー

それを生み出す日本の自然もまた
美しいと感じるセンサーがあるのだ



次に案内してくれたのが
哲学の道の途中にある
大豊神社

ここには
いろんな
動物が
います



動物？

まずはこの狛犬

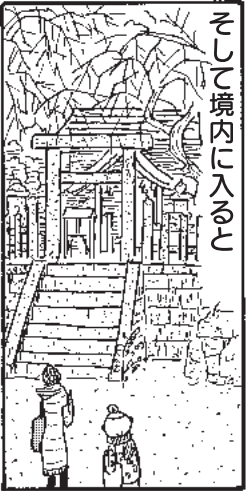
むはッ

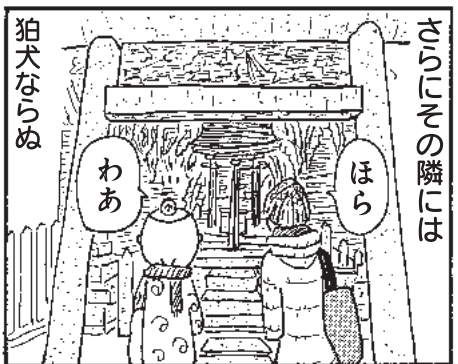
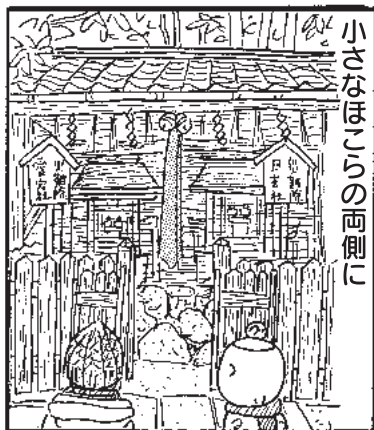
何この豊満な狛犬！

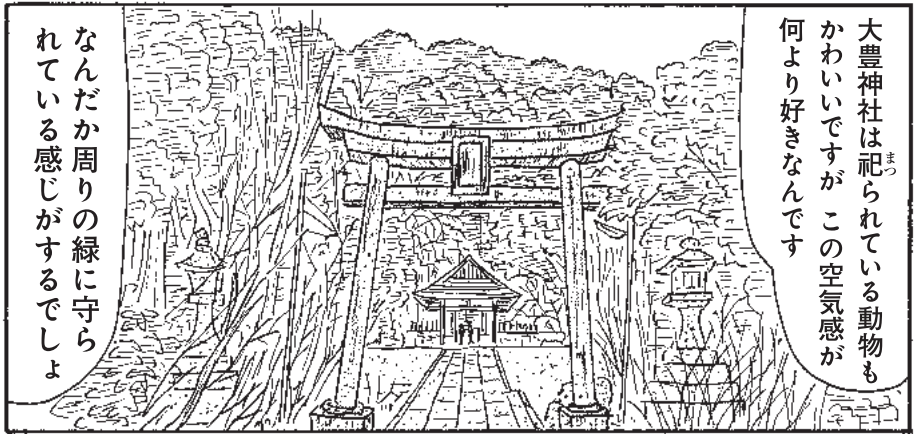


かわいいでしょー

そして境内に入ると







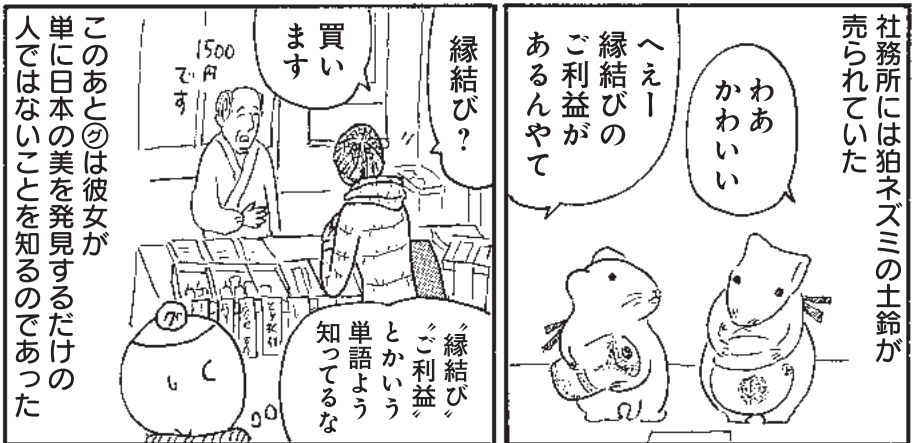
大豊神社は祀まつられている動物も
かわいいですが、この空気感が
何より好きなんです

なんだか周りの緑に守ら
れている感じがするでしょ



特に夕方は夕陽で
神社全体が
不思議な
色に染まって
とても
美しいんです
へえー
そんな彼女を見ていると

いいなあ
私モ
外国人ニナツテ
新鮮ナ目デ日本ノ
美ヲ発見シタイ
デス
とワケのわからない
うらやましさを感じてしまう



社務所には狛ネズミの土鈴が
売られていた
わあ
かわいい
へえー
縁結びの
ご利益が
あるんやて

縁結び？
縁結び
ご利益
とかいう
単語よう
知ってるな
買
います
1500
円
です
このあと②は彼女が
単に日本の美を発見するだけの
人ではないことを知るのであった

深ぼり京都さんぽ
グレゴリ青山・著

発 行：集英社インターナショナル（発売 集英社）
定 価：1,000 円（本体）＋税
発売日：2017 年 7 月 5 日
ISBN：978-4-7976-7342-5 C0095

ウェブでのご予約・ご注文は [こちらにどうぞ！](#)